



「地域や保護者と共にある土曜授業」

今年度、無事5回の「土曜授業」が実施できました。岐阜市が標榜する土曜授業のコンセプトは「地域や保護者と共に」です。以下、本年度の土曜授業を振り返ります。

第1回 5/14「引き渡し訓練」

子どもの安全が最優先

学校と保護者の共通理解の元、まず年度頭にやるべきことです。地域との協働という面から、交通安全協会等、関係団体との連携方法を模索していけるとよいと考えます。



第2回 6/18「1～4年生:校舎内親子清掃、5、6年生:田植え」 活動再開

たくさんの保護者の方々に来ていただき見違えるように校舎内がきれいになりました。また、例年5年生を対象としていた田植えでしたが、コロナの影響で昨年できなかった6年生も参加し、米作り農家さん・JAのみなさんにお世話になりました。

第3回 10/15「1～4年生:校舎外親子清掃、56年生:稲刈り」

生き生き&笑顔いっぱい

雑草引きを中心にグラウンドの清掃を親子で実施しました。老人クラブの方々にも参加していただけたことで学校家庭地域の協働となりました。大好きな保護者との活動で子どもの生き生きとした笑顔があふれていました。田植え、稲刈りとピンポイントの体験ですが、お米農家の方々への感謝やお米を食べられることの有難さを実感できた子どもが多かったです。コオロギやカエルを見つけてたわむれる子どもたちが可愛かったです。



第4回 11/5「ふれあいコンサート」 同年代の人たちの演奏に感動

本来なら長森西フェスティバルの実施ですが、第7波の真ただ中で中止にせざるを得ませんでした。しかし、青少年育成市民会議の計らいで、「吹奏楽団」を招いていただき、子どもたちにとって身近な曲で楽しませていただきました。楽団所属のお子さんもいらっしやることで保護者の方にもご協力を頂きました。

第5回1/28「学年ごとで保護者や地域の方々とふれあえる特色ある教育活動」

過去 ⇒ 現在 ⇒ 未来を実感

【1年生】「昔の遊び体験」【2年生】「おもちゃ作り」

老人クラブの方々と一緒に昔ながらのおもちゃで遊んだり、簡単なおもちゃの作り方を紹介していただき実際に作って遊んでみたりしました。やり方を教えてもらい上手にできるようになる過程の中で、お年寄りの方々と子どもたちとの距離感がどんどん縮まっていく様子がよく分かり大変に微笑ましい活動となりました。

【3年生】「ちょっと昔の道具展」

岐阜市歴史博物館の道具をいくつかお借りし、学芸員の説明を聞きながら見学したり、戦争の頃の生活について映像を見ながらお話しいただいたりしました。今の自分たちの生活は決して当たり前のもではなく本当に有難いという思いに至れた子どもが何人もいました。

【4年生】「1/2成人式」

保護者の方々に参観いただく中で、「1/2成人証書」の授与と「夢宣言」を一人一人が行いました。夢を表す漢字1字を毛筆で書く、合唱をする、感謝の手紙を書く等、かなりの練習と準備を重ねました。全員が精一杯の声と姿で保護者の方々にアピールでき、本当に立派だと感心させられました。

【5年生】「未来の自動車」

5年生は社会科で「自動車をつくる工業」を学びます。今回、岐阜トヨタの方に出前授業を行っていただきました。プレゼンで学び、燃料電池自動車「MIRAI」の試乗も全員が行いました。水だけを排出する自動車や企業のそのことへの取り組みを学ぶことを通して、より環境保全を自分に引き寄せようとする子どもの思いが伝わってきました。

【6年生】「世界の未来と日本の役割」

6年生は総合学習のテーマは「国際社会」です。今回、ユニセフの方に出前授業を行っていただきました。ユニセフはどんな活動をしているのか、世界の子どもたちの現状と2030年に向けてのくらし、水の話…等、をしていただいたり、ワークショップに全員が参加したりして、今自分たちができることは何かを真剣に考えました。

以上のように、地域の方々や保護者との触れ合い、そして得難い体験等、子どもたちの豊かな学びの場となりました。土曜授業の実施に際しては、地域の方々、保護者の方々、各種事業所等に快く協力を引き受けていただくことができました。本当に有難うございました。